

この申立書の写しは、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

受付印		家事 調停 申立書 審判	事件名	婚姻費用分担請求 婚姻費用増額請求 婚姻費用減額請求
収入印紙 円		(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。)		
予納郵便切手 円				

家庭裁判所 御中	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	印
平成 年 月 日		

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) 戸籍謄本(全部事項証明書)(内縁関係に関する申立ての場合は不要) 申立人の収入に関する資料(源泉徴収票, 給与明細, 確定申告書, 非課税証明書等の写し)	準口頭

申立人	住所	〒 - (方)		
	フリガナ氏名	大正昭和平成 年 月 日生 (歳)		
相手方	住所	〒 - (方)		
	フリガナ氏名	大正昭和平成 年 月 日生 (歳)		
未成年の子	住所	申立人と同居 / 相手方と同居 その他()	平成 年 月 日生	
	フリガナ氏名	(歳)		
	住所	申立人と同居 / 相手方と同居 その他()	平成 年 月 日生	
	フリガナ氏名	(歳)		
	住所	申立人と同居 / 相手方と同居 その他()	平成 年 月 日生	
	フリガナ氏名	(歳)		

(注) 太枠の中だけ記入してください。 の部分は、該当するものにチェックしてください。

この申立書の写しは、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

申立ての趣旨は、当てはまる番号を で囲んでください。
の部分は、該当するものにチェックしてください。

申 立 て の 趣 旨	
(相手方 / 申立人)は、(申立人 / 相手方)に対し、婚姻期間中の生活費として、次のとおり支払うとの(調停 / 審判)を求めます。	
1	毎月(金.....円 / 相当額)を支払う。
2	毎月金.....円に増額して支払う。
3	毎月金.....円に減額して支払う。

申 立 て の 理 由	
同居・別居の時期	
同居を始めた日... 昭和.....年.....月.....日 平成.....	別居をした日... 昭和.....年.....月.....日 平成.....
婚姻費用の取決めについて	
1 当事者間の婚姻期間中の生活費に関する取り決めの有無 あり(取り決めた年月日:平成.....年.....月.....日) なし	
2 1で「あり」の場合	
(1) 取決めの種類	〔.....家庭裁判所.....(支部 / 出張所)〕 平成.....年(家.....)第.....号
口頭 念書 公正証書 調停 審判 和解	
(2) 取決めの内容 (相手方 / 申立人)は、(申立人 / 相手方)に対し、平成.....年.....月から.....まで、毎月.....円を支払う。	
婚姻費用の支払状況	
現在、毎月.....円が支払われている(支払っている)。 平成.....年.....月ころまで、毎月.....円が支払われていた(支払っていた) が、その後、(減額された(減額した) / 支払がない(支払っていない)。) 支払はあるが、一定しない。 これまで支払はない。	
婚姻費用の分担の増額または減額を必要とする事情(増額・減額の場合のみ記載してください。)	
申立人の収入が減少した。 申立人が仕事を失った。 申立人自身・未成年者にかかる費用(学費 医療費 その他)が増加した。 その他(.....)	相手方の収入が増加した。